



すべては馬のために

牧場で働きたいと思っているあなたへ



Chiyoda farm

すべては馬のために

千代田牧場

すべては馬のために

人間の都合ではなく、
馬にとって何が良いかを常に考えること。

千代田牧場の大事なモットーです。



■ はじめに

牧場の仕事に興味を持ったあなた。

牧場に就職＝馬を育てるのが仕事、と思いませんか。

もちろん、その通りです。

G I 馬を育てたい。これは牧場で働く人すべてが抱く目標でしょう。

ですが、私たちは、オーナーの夢を叶えることを究極の目標と考えています。

オーナーが馬に見出す楽しみはレースだけではありません。

日常を離れて牧場を訪れるなどを楽しみにされている方もいます。

その意味で、牧場はサービス業の側面も持っているのです。

馬を中心にして、牧場にはいろいろな仕事があるのです。

体力も必要ですし、勉強しなければならないこともたくさんありますが、

「好き」を仕事にできるのは素晴らしいことです。

さあ、馬の世界の入り口から、一歩踏み出してみましょう。



■ 求める人材像

馬づくりを支えるのは多様な人材

牧場の仕事は様々です。サービス業であることは前に述べた通りですが、朝夕の馬の手入れや放牧・集牧、調教や厩舎作業のほかに、どんな仕事が思い浮かびますか？放牧地や走路の管理、設備や車両等のメンテナンス、草刈りや花壇造りなどの場内整美、馬具の修繕や修理、独身寮のごはん作り、お客様へのおもてなし、書類事務もあります。

機械に詳しい、裁縫が得意、料理が得意、花が好き、場を盛り上げるのが得意、データをまとめするのが得意、何でもあります。自身の得意分野を活かして活躍しているスタッフが多いことが当場の特徴です。さまざまな場面で創意工夫を凝らして、発展性のある仕事ができる人材を求めていきます。



結果がすべての勝負の世界

—— 馬は何十年やってもわからない。

数々の名馬を送った池江泰郎氏をもってしても「まだまだ勉強」とおっしゃいます。

飼葉や日々のケア、トレーニングの方法は牧場や厩舎によって様々です。

ある馬で実績を残した方法が、ほかの馬にも合うとは限りません。

書物から得る知識も必要ですが、大切なのはセンスを磨くことです。

馬に関わるすべての時間が、感性を研ぎ澄ますための勉強の時間です。

相手よりも 1 cm でも前に出るために。僅かでもその差が大きな結果につながります。

牧場で働くあなたには、プロとして真剣に馬と向き合う姿勢が求められます。



■ 牧場のサイクル



離乳までの半年ほどは母仔で過ごす。当歳は免疫力が弱く、ウィルスなどに罹りやすい。肢元や蹄にも特に入念なケアが必要だ。この時期に誤ると馬の一生を台無しにしてしまう。

出産シーズンは24時間態勢。ときに緊急事態に陥ることもあるが、獣医師たちの協力を受けて皆で懸命に助ける。お産が終われば、次の種付けも近い。スマーズに受胎できるよう母馬の体調管理を徹底する。



当歳にとって初めての大舞台となるセレクトセール。セリに合わせて馬を最高の状態に持っていくかは、アスリートが試合に向けてコンディションを整えるのと同じく真剣勝負。

離乳後から騎乗馴致の始まる1歳夏まで、昼夜放牧で過ごす。同世代の群れの中で社会性を身につけ、精神的にも成長していく。1歳の夏から秋にかけてはセレクトセールの他、北海道市場で3つのセリがある。



騎乗調教が始まるといよいよ競走馬らしくなってくる。調教中は特に人の少しの油断が馬の故障につながる。馬は物を言えないので、人が馬の状態を見極めて、適切な対応ができるかどうかにかかっている。

2歳が順次トレセンへ

当歳離乳

牧場の1年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

出産・種付シーズン

2歳トレーニング
セール

セレクトセール サマーセール
セレクションセール

牧場の暮らし

無事にトレセンへと送り出した後は、ゲート試験合格の知らせでまず一息。いくら能力があってもゲート試験に合格しなくては競走馬になれない。ここまでは私たち育成場の責任であり、腕の見せ所でもある。



競走生活を終えて牧場に帰ってくる牝馬もいる。母となるために体調を整え、配合を考えるところから、すでに新たな命のサイクルが始まっている。海外から導入した繁殖が新たにファミリーに加わることも。



現役競走馬たちが休養に帰つてくるのが千葉の牧場。夏季は北海道にも休養馬が増える。最近は厩舎と育成場とで短期間に馬を入れ替えることが増えた。よい結果を生むには厩舎との連携、信頼関係が重要だ。



1歳馴致

9月

10月

11月

12月

オータムセール
繁殖セール

忘年会
餅つき

女性スタッフが多いことも当場の特徴のひとつ



- ✓ 北海道の冬は寒くて雪が大変なのでは？
新ひだか町静内は、夏は涼しく、冬は雪が少ないのが特徴です。本格的な雪かきが必要な日は年に数回です。
- ✓ スタッフはどこに住んでいますか？ 結婚したら？
場内に男女独身寮（3食付美味！）と、家族向けの社宅があります。本場も分場も小学校まで徒歩10分。子育て中の世帯が多く、働き方に融通が利くので安心です。バーベキューや忘年会など、家族総出で楽しめるイベントもあります。
- ✓ ふだんの生活に不便はありませんか？
静内の街にはショッピングセンター、ドラッグストア、ホームセンターなど生活に必要なものが一通りそろっています。病院も各科あり、図書館や温泉も。役所関係の各種手続きはすべて街中にある役場でできます。暮らしやすい環境で、馬づくりに専念できます。

■ 会社概要

設立　　：1945年

従業員数：60人

事業内容：競走馬の生産・育成・販売

■ 千葉〔休養・育成〕

〒289-1608

千葉県山武郡芝山町岩山2339



◀ 千葉牧場

トレセン入厩前の2歳馬や休養馬の調整を行っています。

古くは馬産が盛んな地域で、当場も千葉から始まりました。所在地の旧地名千代田村が牧場名の由来です。



静内本場 ▶

北海道の拠点として1966年に開場しました。主に繁殖牝馬と離乳前の当歳、育成馬が繋養されており、1年を通してオーナーや調教師の方々など多くのお客様が訪れます。



◀ カントリー分場

二十間道路の桜並木に面した元カントリー牧場を譲り受けてリニューアル。タニノギムレットやウォッカにつづく名馬の故郷となるべく、離乳後の当歳と1歳馬が放牧されています。



新冠分場 ▶

静内本場から車で10分。離乳後の当歳が1歳の夏までを過ごします。河原の良質な土壤に恵まれた放牧地では昼夜放牧を行っています。放牧地を眼下に見下ろす景色は最高です。

千代田牧場の歴史

- 1945 千代田牧場 創業 千葉県山武郡に5haの牧場を譲り受けて馬産を開始。
- 1961 初めて海外から繁殖牝馬を導入 以後、現在に至るまで毎年、海外の血を導入している。
- 1966 北海道・静内本場を開場 生産の拠点を北海道に移し、生産～初期育成を静内、後期育成を千葉で行なう体制に。
- 1975 イチフジイサミが天皇賞優勝 前年のダービーはタケホープの2着、菊花賞は3着だった。
- 1982 ビクトリアクラウンが最優秀3歳牝馬を受賞 前年の最優秀2歳牝馬に続く受賞。桜花賞直前に骨折し、春のクラシックは棒に振るが、復帰後はエリザベス女王杯優勝、有馬記念5着。「幻の三冠馬」と言われる。
- 1987 ニッポーテイオーが最優秀4歳以上牡馬・最優秀プリンターを同時受賞。
その妹タレンティドガールがエリザベス女王杯優勝 4週間に兄妹でGⅠ3勝の偉業を達成。母チョダマサコを名牝に。
- 1991 内国産の繁殖牝馬を初めて海外で繫養 翌年生まれた馬にコクトジュリアン（父Machiavellian；重賞1勝、朝日杯F S 3着）、ホエールキャプチャの祖母エミネントガール（父Nashwan）がいる。
- 1993 静内に日本初の屋根付坂路が完成 1000mトラックに接続する大型坂路の完成により、静内で本格的な育成調教が可能に。
- 2002 スマイルトゥモローがオークス優勝。
ピースオブワールドが4戦無敗で最優秀2歳牝馬を受賞。
- 2012 ホエールキャプチャがヴィクトリアマイル優勝。カントリー分場を開場
- 2014 ダノンプラチナが最優秀2歳牡馬を受賞





牧場はチームでありファミリー

「すべては馬のために」

仕事は厳しいかもしれません、

それだけ私たちは馬にも仲間にも真剣です。

愛があるからこそ、真剣になる。

ここには、志をともにするたくさんの仲間がいます。

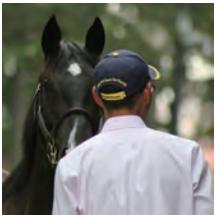
あなたも家族のようなチーム千代田の一員になりませんか。



Chiyoda farm

すべては馬のために





TEL. 0146-46-2400 FAX. 0146-46-2440

2400@chiyoda-farm.com

<http://www.chiyoda-farm.com>



Chiyoda farm

すべては馬のために

千代田牧場

■ 千葉〔休養・育成〕

289-1608

千葉県山武郡芝山町岩山2339

■ 北海道〔生産・育成〕

□ 静内本場 056-0144 北海道日高郡新ひだか町静内田原621

□ カントリー分場 056-0144 北海道日高郡新ひだか町静内田原539

□ 新冠分場 059-2415 北海道新冠群新冠町緑丘1-3